

Course number		G-LAS00 80006 SJ44					
Course title (and course title in English)		アントレプレナーシップ演習 Entrepreneurship Exercises		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Office of Institutional Advancement and Communications Program-Specific Professor, KITANI TETSUO	
Group		Common Graduate Courses		Field(Classification)		Social Responsibility and Profitability	
Language of instruction		Japanese		Old group		Number of credits 2	
Hours		30		Class style Seminar (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・Intensive, Second semester	
Days and periods		Intensive TBD		Target year Graduate students		Eligible students For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>専門分野についての高度な知識を持つ大学院生にとって、企業という形態を通じた社会における研究成果の活用の方法や、独自の研究テーマをさらに深めるための多様な資源獲得の手法について、幅広い理解が欠かせない時代となっている。特に欧米においては研究者が事業化を目指すことで、幅広い投資家から研究資金を調達することが一般化しており、自分の志す研究を深めるために、アントレプレナーシップの果たす役割は大きくなっている。</p> <p>アントレプレナーシップの定義は “ The pursuit of opportunity beyond the resources you currently control ” （ 現在所持する資源を超えた機会を追求すること ） とされ、アントレプレナ にとって必要なスキルとしてはOpportunity Recognition（ 事業機会の特定 ） とResource Acquisition（ 資源の調達 ） が重要となる。</p> <p>本授業では、前者の事業機会の特定に重点を置き、アントレプレナーの活動をシミュレーションする。事業アイデアの創造、技術の探索、仮説の検証、ビジネスモデルの構築といった一連のプロセスを、講義とグループワークの組み合わせを通じて体感していく。</p>							
[Course objectives]							
<p>受講生は、講義で具体的な手法について学ぶと同時に、それぞれの主体的な興味・関心に基づくテーマを選び、グループワークを行う。受講生は、グループワークを通じて起業のプロセスを実体験する中で、下記の3点について理解を深めることを目的とする。</p> <p>1 ) 起業において必要な方法論、特に事業機会を特定する手法について学ぶ</p> <p>2 ) 起業におけるコミュニケーション、チームワーク、リーダーシップの重要性について理解を深める</p> <p>3 ) 研究成果と社会との連結について理解を深める</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>グループワークで起業プロセスのシミュレーションを行う。以下のトピックについて、それぞれ授業を実施する。</p> <p>1 日目 イントロダクション、未来年表： スタートアップのコンセプトを学習する。将来の制度や生活者のニーズの変化を予測し、事業の可</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to アントレプレナーシップ演習(2)</div>							

## アントレプレナーシップ演習(2)

能性を考える。

2日目 海外事例分析：

リーン海外のイノベーション事例分析をもとにアイデア創出を行い、発表、ディスカッションを行う。

3日目 アイディエーション：

マイクロトレンド（ミクロな変化の兆しへの着目）、メタファー（動植物をヒントにするバイオミクリーなど）などの手法を用いて、ビジネスアイデア創出を行う。（技術イノベーション事業化コースと合同）

4日目 ビジネスモデル：

顧客ニーズ、提供価値、収入・コストを含むアイデア全体について仮説を立て、外部インタビュー等で検証・修正を行う。

5日目 プレゼンテーション：

最終プレゼンテーションを行う。真剣な投資検討の対象になりうるレベルを目指す。

隔週土曜日（13時 17時半）

1日目 10月18日(土)

2日目 11月1日(土)

3日目 11月15日(土)

4日目 11月29日(土)

5日目 12月13日(土)

### [Course requirements]

大学院教育支援機構が提供する「産学協同教育コース」をコース履修する際には、本科目受講後に「技術イノベーション事業化コース」を受講することが望ましい。

事前に以下の受講を推奨

「アントレプレナーシップ入門」（大学院共通、前期集中）

### [Evaluation methods and policy]

授業中に課す個人レポート 20%

最終発表 40%

グループワークにおけるチームワーク、コミュニケーション 20%

授業への貢献（出席・発言）20%

### [Textbooks]

エリック・リース 『リーン・スタートアップ』（新潮社）ISBN:978-4-8222-4897-0

### [References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

（Related URL）

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/ims/>((授業についての予備知識・関連イベント等))

Continue to アントレプレナーシップ演習(3)

### アントレプレナーシップ演習(3)

#### [Study outside of class (preparation and review)]

授業初日に提出する事前課題あり。課題内容については授業登録者にたいしてPandA等で連絡します。

#### [Other information (office hours, etc.)]

本科目は大学院教育支援機構が提供する「産学協同教育コース」を構成する科目であるが、コース履修に関わらず本科目のみ受講することも可能です。

質問等がある場合は以下まで  
kitani.tetsuo.2s@kyoto-u.ac.jp ( @ )

面談希望の場合は事前に上記メールでアポをお願いします